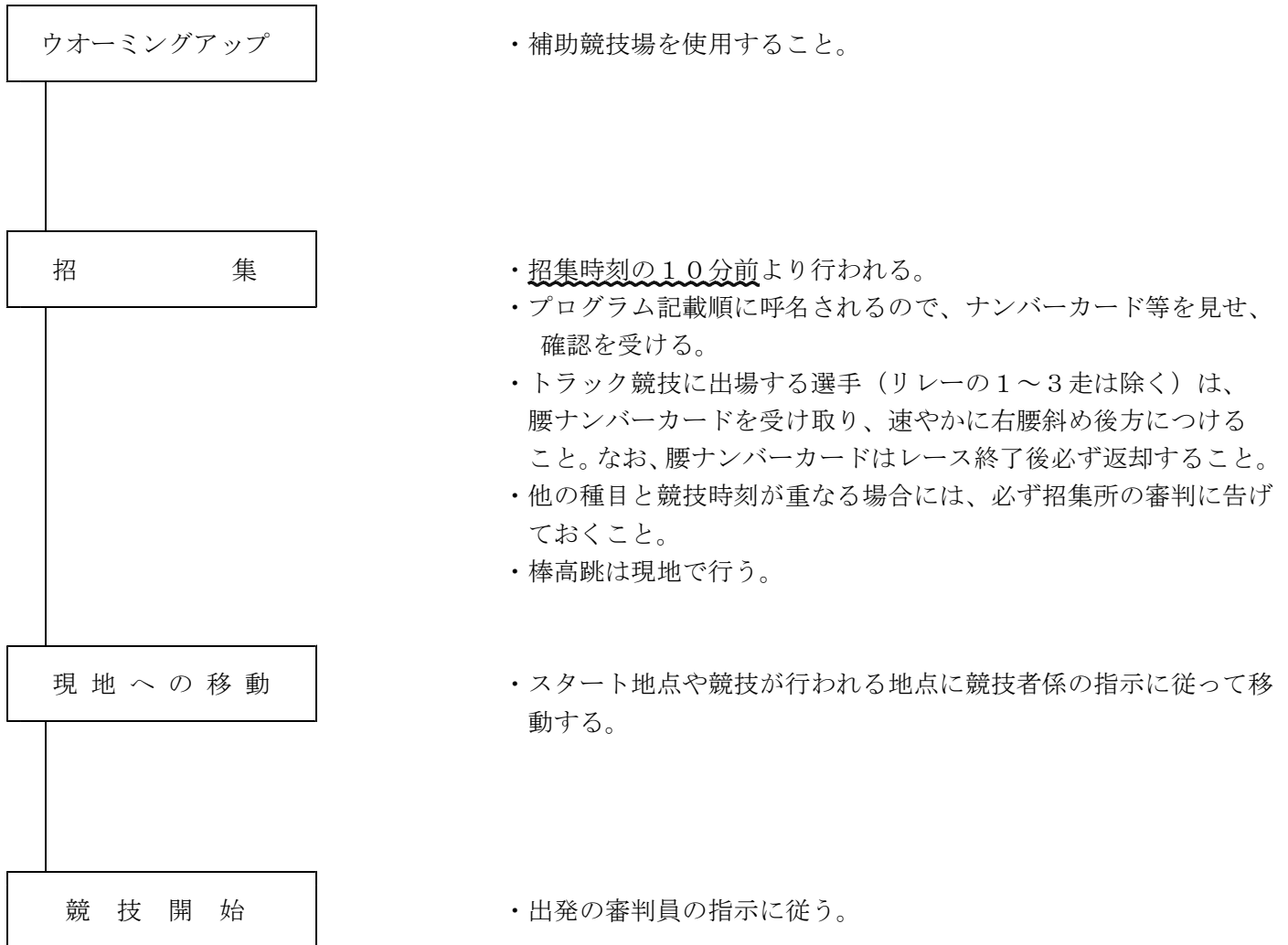


競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2009年(財)日本陸上競技連盟競技規則による。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード(男女赤字)を胸背部につける。ただし、棒高跳、走高跳は胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手(リレーの1~3走者を除く)は全員腰ナンバーカード(大会本部で用意する)を右腰後方に付ける。
3. 招 集 ○競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。
○トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技(棒高跳を除く)は30分前、棒高跳は60分前を招集時刻とする。
○代理人は認めない。
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
○四種競技の第一種目の招集については、他の種目と同じ手順で招集を行うが、第二種目以降の招集については現地において招集時刻の5分前に行う。
4. 練 習 場 ウォームアップ場は補助競技場のみとする。
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。但し、棒高跳のポールは各自のものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. トラック競技 タイムレースとして決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。
7. フィールド競技 走幅跳、砲丸投は3回試技とし、ベスト8は行わない。
第1回目の試技は全員計測するが、2回目以降は当日設定する標準記録以上の者を計測する。
8. バーの上げ方 男子走高跳 145 150 155 160 165 170 175 180 185 以後3cm
男子四種走高 135 140 145 150 155 160 以後5cm
男子棒高跳 280 300 320 以後10cm
女子走高跳 125 130 135 140 145 150 155 157 以後2cm
女子四種走高 115 120 125 130 135 140 以後5cm
女子棒高跳 150 170 190 以後10cm
※当日変更することがある
9. ス パ イ ク トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
10. 表 彰 各種目の1~8位に賞状を授与する。
通告があり次第、すみやかに本部に受け取りに来ること。
11. そ の 他 ○本大会において四種競技の全国大会の標準記録を突破した選手は、四種競技の全国大会への出場権を得る。
○当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
○当日の選手の変更は一切認めない。
○競技する選手以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
○更衣は更衣室で行い、更衣室は常に清潔に努め、ロッカー等には貴重品・衣類等は置かない。
○空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
○「テント」はスタンドの最上段付近に設営すること。「のぼり」はスタンドの最上段の手すりのみ設置可。
○メインスタンドでの集団応援は禁止します。
○中学生は携帯電話を競技技場内では原則として使用しないこと。

選手注意事項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、リレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



注意1 四種競技について 一種目目の招集の手順は、他の種目と同様、上記の通り行う。
二種目目以降の招集は、直接現地にて招集時刻5分前より行う。
二種目目以降のトラック競技においては、出発係より腰ナンバーカードを受け取り、速やかに右腰斜め後方につけること。

注意2 リレーについて 招集は4人そろって他の種目と同様、上記の通り行う。
なお、オーダーは午前中に招集所で走順を記入すること。招集時刻の1時間前までは変更可能とする。